

授業科目名	音楽制作演習Ⅱ	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	水野 義子	単位	1	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

後に、ポピュラー音楽のアレンジや、アドリブができるようになるための、ポピュラー音楽の基礎を半年間でしっかり固める。ポピュラージャズ理論を知識だけでなく、キーボードでトレーニングを積むかたちで体得する。

＝履修の条件と学習の方法＝

苦手意識やめんどくさいを排除してトレーニングを積み、紙の上の知識ではなく実践できるものに高めよう。宿題のトレーニングと復習を確実にすること。

＝授業の概要＝

スケール、音程、コードネームの基礎的な知識からスタートし、ポピュラー音楽のアレンジに必要なコード進行、リハモナイズ、フェイクをテキストからの知識とトレーニングを積むことで学んでいきます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 スケールとコードネーム（数字に強くなる）
- 3回 スケールと音程
- 4回 複音程・コードの転回型・Cメロ譜を弾く
- 5回 コードの連結
- 6回 ダイアトニックコード
- 7回 ダイアトニックコードトレーニング、サイクルオブフィフス
- 8回 II、V7、I
- 9回 代理コード、ベースライン
- 10回 フェイク1
- 11回 フェイク2
- 12回 フェイク3
- 13回 副属七 代理コード
- 14回 応用
- 15回 まとめ

＝テキスト（必携）＝

《No.1.》

書籍名：松田昌の音楽トレーニング

著者名：松田 昌

出版社：ヤマハミュージックメディア

《No.2.》

書籍名：松田昌の音楽講座 ポピュラーアレンジの基礎知識

著者名：松田 昌

出版社：ヤマハミュージックメディア

=参考書・参考資料（必携）=

=成績評価の方法と評価の基準=

課題曲のアレンジ及び演奏データの提出。学習内容を理解し、応用できるかを評価します。筆記試験も実施します。授業内での課題の達成度も評価対象。

=その他=